

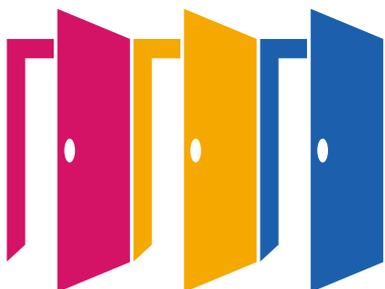
Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦



第1662回例会

令和3年4月1日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代) ●我等の生業

○ビジター

- 今井令雄名誉会員

○スマイルBOX

- 今井令雄名誉会員 (白河西RC35周年おめでとうございます。吉野会長さんはじめ会員の皆様のご活躍を祈念致しております。)
- 吉野敬之会長 (今井パスト会長、金田パスト会長、吉田パスト会長本日は卓話有難うございました。今井さんと過ごした白湾の夜は忘れられません。金田さんからは震災の際掛けていただいた励ましの言葉忘れられません。充ちゃんごめんなさい。これから思い作りましょう。)
- 堀田一彦幹事 (今井パスト会長、金田パスト会長、吉田パスト会長、卓話ありがとうございます。)
- 金田昇会員 (今井さんお久しぶりです。本日は25周年について話させていただきます。来週の地区大会と11日の地区セミナーにご参加下さい。よろしくお祈りします。)
- 吉田充会員 (35周年のお祝いにスマイルします。歴代周年会長卓話ご指名いただき、ありがとうございます。)
- 片倉義文会員 (先月、結婚記念のお祝い戴きました。ありがとうございます。)
- 大住由香里会員 (お誕生日のお祝いありがとうございます。40歳を楽しみたいと思います。パスト会長のお話を基に35周年をしっかり務めていきたいと思ひます。)
- 成井正之会員 (今井、金田、吉田周年歴代会長様、卓話ありがとうございます。今井名誉会員様お久しぶりです。お元気な様子なので何よりです。是非、調子の良い時は例会にご出席して下さい。)
- 居川孝男会員 (今井名誉会員、金田パスト会長、吉田パスト会長、周年のご苦労話ありがとうございます。又、結婚記念日のお祝いありがとうございます。)
- 永野文雄会員 (今井令雄名誉会員様ようこそ、お久しぶりです。金田昇パスト会長、吉田充パスト会長、卓話ありがとうございます。火曜日の南湖神社での植樹事業ご苦労様でした。)
- 中目公英会員 (林利勝名誉会員と関谷亮一パスト会長の熱い思いを以て、ロータリーの森づくり植樹式を創立35周年記念事業の一つとして、3月30日に南湖神社境内にて挙行することが出来ました。誠にありがとうございます。)
- 矢田部錦四郎会員 (先月は誕生日祝いありがとうございます。67才になりました。今年の目標は、モトブクロ (YouTube) ユーチューブにチャレンジします。)
- 青木大会員 (久しぶりのパーディです。)
- 小林義勝会員 (歴代会長の皆様、卓話ありがとうございます。誕生日祝いありがとうございます。)

▶第1662回例会出席状況 (R3年4月1日)

| | |
|------------------------------------|-------|
| Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数 | 47名 |
| Ⓑ 出席免除の適用正会員数 | 14名 |
| Ⓓ 全正会員数 | 61名 |
| Ⓒ ①の出席者数 | 25名 |
| Ⓔ ①のメイクアップ者数 | 2名 |
| Ⓕ ②の出席者数 | 10名 |
| Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数) | 37名 |
| Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧) | 57 |
| Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率) | 64.9% |

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆様、こんにちは。本日も多数の方が新年度始まりの忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。幾つかご案内がございますので、先にお伝えさせていただきます。先日、35周年記念事業といたしまして南湖神社のほうに桜の木の植樹を行ってまいりました。こちらのほうは、ちょっと急急のご案内になりまして、白河森林組合のほうのタイムスケジュールがはっきりしませんでしたので、月曜日のご案内になりまして火曜日に実施というタイトなスケジュールでございましたが、なかなかご都合つかない方も多かった中、十数名の方がお集まりいただきまして無事植林されたということで施行させていただきました。新聞社の方にも取材をしていただきましたので、近日中にまた新聞のほうにてご報告があるかというふうに思っております。それといよいよ地区大会、今週の日曜日に地区大会のほうが開催されます。皆様のほうに資料のほうは行ってらっしゃるかと思うのですが、地区大会をズームを用いての開催ということで、皆様のお手元にID、パスワードというふうなものがご連絡が行ってるかと思っております。こちらに関しましては、地区大会のユーチューブはその時間帯のみの配信。それと、ユーチューブは録画ができませんということでございましたので、こちらは是非、その時間帯うちのクラブといたしましては全員登録をさせていただいております。どの場所でも、携帯、スマホをお持ちであれば、携帯でもご参加できますので、サテライトで行うような事はうちのクラブは企画しておりませんが、是非個人個人で地区大会のほうをご覧になっていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。それと、食事のほうを今週から通常のお弁当ではなくて通常の食事のほうに切り替えさせていただきました。基本的には、お弁当のご入用の数が非常に少なかったし、できれば会場で皆さんお弁当食べてらっしゃる方が多かったので、だったら温かいほうがいだろうということで、このような形にしつらえを直させていただきました。それには、コロナも少し落ち着いてきているのではないかと思います、先日そのような話をしてこういうような形になりましたのですが、皆さんご存知のように京都、大阪、宮城のほうでまた緊急事態宣言みたいな感じで新たな宣言が出されまして、また蔓延が増加しているというふうな状況でございますが、ここに集っている方は皆様白でございますので食事のほうを楽しんでいただければと思っております。去年の今頃はちょうど、中目パスト会長のもと例会を休会せざるをない状況で、その当時わたくし一年後にまたこのような状況で運営をさせていただくことになろうとは思っておりませんでした。やはりこういう状況下でいろいろ皆さんに工夫をいただいたり、支援していただいた中で開催

できる例会というのは人一倍思いも深いですし、数年後にはあんな時期もあったねと笑えるのではないかと思います。そして最後になりますが、いよいよ来週には当クラブの35周年記念式典が開催されることになっていきます。本日は、10周年、25周年、30周年の会長に、当時の思いと式典の開催に関する思いというものを発表していただくというふうになっておりますので、皆様もその思いをお聞きしてまた35周年に対する思いを新たに力を合わせられる良い例会になればと思っておりますので、ご足労いただいた皆様、よろしく願いいたします。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 社会福祉法人優樹福祉会 オープンハウス白河 管理者 深谷亘弘：広報誌「オープンハウスだよりNo.27冬号」について（送付）
- 国際ロータリー日本事務局財団室：財団室NEWS20 21年4月号
- 公益財団法人米山梅吉記念館 理事長 積推惟貞：賛助金ご入会のお願い
- ガバナー事務所：表彰状及び表彰品について
- 白河ユネスコ協会 会長 小野利廣：ユネスコしらかわ第27号について（送付）
- ガバナー月信委員会：ガバナー月信5月号（Vol.11）原稿依頼
- 会長 小野利廣：白河市国際交流協会会報Vol.20送付について
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー事務所 石黒秀司、職業奉仕委員長 初瀬照夫：ふくしま職業奉仕宣言募集
- 2018-19年度ガバナー 平井義郎：地区大会のお知らせ
- 地区ガバナーエレクト、ガバナー補佐：2021-22年度のクラブ情報と役員の報告・確認について
- ガバナー補佐：4/4地区大会YouTube配信に関する質問
- 公益財団法人米山記念奨学会：米山記念奨学会学友連絡票
- 国際ロータリー日本事務局：国際ロータリー日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ
- ガバナー事務所：大会テーマ「今年こそ奉仕！澎湃と渦巻け！！」2020-21年度地区大会特別研修セミナー
- 2021-22年度ガバナーエレクト事務所 岡山直緒美：国際ロータリーデータサービス部より登録のお願い
- 国際ロータリー2530地区2020-21年度 ガバナー 石黒秀司、RLI委員会委員長 鈴木和夫：国際ロータリー第2530地区RLI委員会第1期・第2期報告書のご送付について

■委員会報告

○親睦委員会

・誕生日

関谷亮一会員、宮本多可夫会員
鳴島三夫会員、小林義勝会員
十文字光伸会員、緑川直人会員

藤田和克委員



大住由香里会員、上杉謙太郎会員

・結婚記念日

矢田部錦四郎会員、成井正之会員

宮本多可夫会員、居川孝男会員、佐藤幸彦会員

櫻岡敏之会員、島田修一会員、瀬谷隆志会員



○雑誌広報委員会

池田浩章副委員長



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会から「ロータリーの友」4月号の読みどころをご紹介します。まずページをめくりますと、乳飲み子を抱いた外国の女性の方が載っております。あれっ、これは何だろうなということですが、これは横組みの7ページに、今月はロータリーでは母子の健康月間ということで特集が組まれております。片倉医院さんとか行くと、このような妊婦の方の胎児のイラストが載っているところがございますが、そういったことで「日本の母子にできること」ということで、各地の性と生に関するいろいろな活動が載っております。その中で当会員の若い方々、小中高生とかの子供たちを持つてる方、沢山いるかと思いますがそういった方にちょっとしたこの記事が載っておりますので、是非とも読んで参考にしていただければと思います。また、横組み13ページのほうでは子宮頸がんということで、子宮がんのワクチンが出た時には大変報道的に副作用があって、なかなかワクチンというものが受け入れられなかったことがございましたけれども、そのような因果関係のないということが証明され、ワクチンというものが接種されるようになったわけでございますが、この子宮頸がんということは年間において約2800人も女性のの方が亡くなっているというような事が書いてございますので、その辺とあと男子の方にこれなんで子宮頸がんのワクチンが男子の方にも適用されるのかというのがよくわかりませんが、その辺書いてございますので、よく読んでいただければと思います。縦組みのほうに行きたいと思います。縦組みの4ページ「0から1をつくる」ということで、平昌オリンピックで女子カーリングで銅メダルを取った、当時キャプテンをしていました現在ロコ・ソラーレの代表であります本橋麻里さんのことが書いてございます。この方、とても美人アスリートであるんですけども、なかなか精神的に凄く厳しいというか、自分にすごく厳しいところのしっかりした女性でありまして、このマイナーなスポーツですね。その頃は、大変マイナーであり知られてい

なかったわけですけども、メジャーにするということで、大変頑張って自分を厳しく活躍できるようにということで、切磋琢磨してるということで、素晴らしい女性じゃないかなと思っております。それで、平昌オリンピックだけでなく2年後の北京オリンピックにも出場を見据え頑張っているということが書いてございます。最後になりますけども、同じく縦組み9ページで「この人を訪ねて」ということで、平井憲太郎さんというロータリアンの方が載っておりますが、なんでこのような人が載ってるかと申しますと、この方のおじいさんが怪人二十面相と明智小五郎さんの作家で有名な江戸川乱歩さんのお孫さんということで記事が載っております。また、この江戸川乱歩さんという方は東京池袋ロータリークラブの創立会員になっておりまして、ロータリーに活躍されたということで、本当に日本全国いろいろな方々がロータリーで活躍してるんだなということがよくわかります。この辺で雑誌のご案内をさせていただきました。

○35周年実行委員会

青木大会員



35周年実行委員会よりお知らせをいたします。本日6時半より35周年実行委員会、式典前の最後の実行委員会になります。リハーサルを含めて行いますので、ご参加の程をよろしくお願いいたします。また、記念品も見本ができてきましたので、会長の横に置いておきます。デザインは4つほどありますが、今回は一つだけ持ってこさせていただきました。残り3つは当日お見せしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

○米山記念奨学生カウンセラー

阿部克弘会員



皆様、こんにちは。米山記念奨学生カウンセラーの阿部克弘です。我が西クラブがお世話をしておりましたミャンマー出身のチョウ・ナンダ・トゥンさんの件なんですが、3月に無事、国際情報工科大学を卒業され、3月21日の国家資格の受験をしまして本人採点ですと合格したということですので、多分合格していることでしょう。それに伴いまして、「ホンダカーズ埼玉」のほうのディーラーさんのほうに配属になりまして、お住まいのほうは埼玉県の本庄市という所なんですが、そこは深谷市のすぐ隣ですので、白河西ロータリークラブとの姉妹提携しております深谷ノースロータリークラブの本拠地のすぐ近くですので、今後お会いすることもあるかと思ひます。ただ、残念ながら4月10日の35周年記念式典にはどうしても仕事が土曜日ですので出席できないということですが、いずれ機会を設けてましてズームで皆さんにお礼を申し述べたいというふうには申しておりました。3月30日に、本庄市のほうに向かって今現在頑張って仕事をしてるようです。報告、以上です。よろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム

歴代周年時会長卓話

○白河西RC10代会長

今井令雄パスト会長



皆さん、こんにちは。今井でございます。大変お久しぶりで、私が前回の例会に出席したのが3年前ぐらいになりますか、それ以来です。会場のほうもコロナ対策なのでしょう。このように広い場所で開催されるということになっているみたいで。実は、先日パスト会長の永野さん、そしてプログラム委員長さんの齋藤さんが来られまして、今年創立35周年になるんだと。そういうことで、節目の年の会長さんに何かお話をしてもらえないかということで、わたくしも10分くらい時間があるということですので、私、チャーターメンバーでもありますし、また10周年の時の会長ということでもありますので、そのあたりを手短に、そして断片的ではありますが思い出などを少し話してみたいなというふうに思っております。現在の会員数は何か話を聞きますと60数名になっていると、このように聞いております。創立時は27名でスタートいたしました。この現在も在籍してる会員ちょっと数えてみたんですけども、そうすると創立メンバーが6名で、林さんと私、一応名誉会員になっているんですけども、そちら2人を入れても8名ということでございまして、35年経って時の流れといいますか、そんなものを感じております。私はこの創立メンバーの27名と言いましたけども、その中にはスポンサークラブの白河ロータリークラブから3名が移籍されておられました。初代会長の益田森治さん、そして3代目の柳沼和夫さん、そして当時は例会場というのが新蔵の「はくや」というところで開催されていたんですけども、そこの久保木典雄さんというこの3名が白河ロータリークラブから移籍されて入りました。その方3名を入れて27名でスタートしたわけでございます。創立して第1回目の例会がございまして、その中で私が強く印象に残っているのは、白河ロータリークラブの特別代表の松浦光輔先生という方がいらっしゃるんですけども、この方がロータリーの基本は出席することだ。そう言われました。そして、出席をすればおのずとそこに親睦が生まれます。そして、親睦があつて初めて奉仕なんだと。だから、出席が一番大事ですよと、このように言われました。聞くところによりますと、パスト会長の永野さんは創立以来100パーセント出席されているというふうに聞いてまして、本当に立派で大したものだなと思っております。私は創立3年目の柳沼和夫さん、この方がちょうど私と同町内ということで幹事を頼まれました。ロータリーは頼まれたら断れないんだよと、このように言われてお引き受けいたしました。当時はまだまだ、組織の運営も事務処理も試行錯誤、そういう時代でした。私は3代目の幹事なんですけれども、2代目の幹事さんは鈴木啓輔さんという「東京海上」の方でございました。それで、その方が5月に転勤になってしまいました。そんなこともありまして、私は2代目の最後の期間と3年目の一

年間と、これを通して幹事をしなければならないというような形になりました。この35年間で一年以上幹事をしたのは初代、林利勝さんと私だけかなというように思っております。ロータリークラブには国際大会これが毎年開催されておりますけども、西ロータリークラブが最初に参加したのが私が幹事の時の3年目でございます。その国際大会は、韓国のソウルで開催されまして、あの時は白河ロータリークラブ、矢吹ロータリークラブと3クラブが合同で参加いたしました。白河ロータリークラブが韓国のセイキウロータリークラブと姉妹クラブになっていましたので、そちらも訪問して交歓を深めてまいりました。現在、日本と韓国はあまり関係が良くありませんけれども、当時は踊りあるいは歌などを披露していただいて、大変大歓迎していただきました。その国際大会は登録者数が4万人くらいいました。その中で日本からは1万人が参加しました。大勢で参加しましたので、開会式も2回に分けて開催しました。開会式の会場では日本語の同時通訳の器機を貸し出すなんていう話もあったものですから、私幹事ですからいろいろな場所を探してみたんですけどもなかなか見つからなくて、それで間に合わなかった。だから、内容はあんまりよくわかんないような状態だったんですけども、まあ国際大会というものがどういうものなのかと、その雰囲気だけは味わってきたような気がします。それから、創立5周年初めて姉妹クラブを結びました。ご存じのように姉妹クラブは、米沢中央ロータリークラブ、コザロータリークラブ、深谷ノースロータリークラブ、3クラブ現在しておりますけれども、最初に締結した米沢中央ロータリークラブについて話をしますと、そのきっかけは福島県と山形県は前は一緒の253地区という地区だったんですね。その地区が90クラブくらいあって大所帯だったんですね。それを分けるということがございまして、酒田で地区大会があったんですけども、福島県と山形県で交互に開催してたわけですけども、たまたま地区大会が酒田であつて、その中で福島県と山形県のクラブを分けるというのが決議されました。それで、私たちとしては山形の方々との交流がこれで終わるのも残念だなとそのように感じまして、私共のロータリークラブの創立の時のガバナーが米沢ロータリークラブの九里茂三さんだったんです。ですから、九里さんをお願いをいたしまして、どこか良いところはないかと、ふさわしいところはないかということで米沢中央ロータリークラブを紹介していただきました。それで、私共が創立5周年記念事業として姉妹締結をいたしました。米沢中央ロータリークラブが4年目、私共が1年先輩ということになります。この地区大会で山形県と福島県が分かれたということで、前に言った253地区が福島県が2530地区、山形県が2800地区とこのようになって今現在に至ってます。ですから、253地区からスタートした西クラブは1991年7月ですから、齋藤惣三郎さんが会長の時から2530地区になったと思います。それで、姉妹締結の記念事業として記念植樹があつたんですね。その時に米沢市の木がコメツガだったものですから、その木を小峰城の公園に記

念植樹したんです。今、歴史館の向かい側の公園のほうに今も育っていますので、見てない方は行かれて見ていただくとわかると思いますので、そういうことだと思います。次に、青少年交換事業というのをやっていたんですね。これは7年間行いました。7代の稲垣会長さんから13代の石田会長さんまで7年間続けてたんです。交換留学生を受け入れるには、受け入れる側の学校が決まらないとそれは成立しませんで、ただそれがちょっと難航しまして最終的には白河実業高校が引き受けていただけたものですから7年間続けることができました。私は第2回目の交換留学生の、アダム・ゼナー君というアメリカのテキサス州から来た高校生なんですけども、ホームステイして3か月ばかりですかね、しましたけども。彼は非常にやんちゃで歌が好きだったんですね。それで実業高校の文化祭などで、彼のワンマンショーをやるということで聞きに来てくれないかという話がございます、私も家内を連れて聞きに行ってきました。なんかエルビス・プレスリーの曲を何回も一人ワンマンショーをやってまして、皆に好評でした。私もそんな事を思い出しております。私の会長時代10周年になりますけども、記念事業として南湖の桜が天狗巢病にかかっている、それを除去しなくちゃならないということで、記念事業としてやりました。クレーン車、高所作業車などを何台も使って除去作業をしました。無事、皆さん怪我もなく終わりましたので、ほっとしております。また、記念講演としてはノンフィクション作家の柳田國男さん。その当時、脳死問題、脳死というものが社会問題というか話題になったものですから、「生と死」という題で柳田さんにご講演をいただきました。大変感銘深い講演だったと思います。その時には、会員の全員の皆さんのご協力があったと思っております。特に、私の時の幹事は安部和夫さんで安部さんには大変お世話になったと思います。あの10周年から25年がもう経ってるわけですけども、今考えても思い出深いなというふうに考えております。最後になりましたけれども、ロータリークラブというのは職業が様々な方が入ってますよね。また、年代も若い人から我々みたいな70後半まで、80もいますよね。そういう幅広い人たちが集まっていますので、非常にそれも一つの大きなロータリーの良さだと思うんですよ。今現在、コロナ禍の中ですけども大変な世の中です。しかし、これからも吉野会長さんを中心にご活躍されることを祈念をいたしまして、私の話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

○白河西RC25代会長

金田昇パスト会長



皆さん、こんにちは。25周年ということで、25代の時の会長を務めさせていただいた金田です。今ほど、今井さんのお話沢山聞いて面白かったなと思うのは、私入ったのは今井さんの年度の最後だったので、10周年記念式典終わった後に入ったというそれからですから、それから前のことが全然わからない

で、その後15周年の時に道又さんが会長でした。その時の幹事をやっております、当時のガバナーが富永健男さんであったというふうなことです。非常に15周年、何が何だかわからない。入って4年目くらいに幹事を引き受けまして、すぐ周年事業ということだったので、右も左もわからないんですが、当時の会長の道又さんが非常にまめな方で様々なことをご指示いただきました、何とか15周年の周年を終わらせることができました。その後、25周年の時に会長を受けたということで。25周年の記念式典をやりました。くしくも15周年で幹事やって、また25年で周年事業の時に何かをやっているということで、多分この次に話す30周年の吉田君も20周年の時の幹事をやっているんですよ。だから、なんかそんなふうなことを感じております。25周年の時のことをちょっと思い出しますと、どんなことをやったのかなという記念誌がありましたので写真を見ながら非常に懐かしく思っちょっとまとめてきました。サイクルフェスタ続けておりましたけども、これ多分最後の年になりました。この後、震災によって泉崎のサイクルスタジアムが壊れてできなくなりましたので、ちょうど10回だけサイクルフェスタをやって、最終のサイクルフェスタが記念事業になったということと、あとたまたま藤田龍文会員からのご紹介もあり、非常に高名なトーマス・フォードロフというバイオリニストが白河にいらっしゃって、そのチャリティーコンサートとして盛大にできたのが11月6日でした。その後、ロータリーの森作り記念植樹ということで、ロータリー100周年を迎えるからということになりまして、少年自然の家に山桜を100本植えましょうということで植えてきました。活着しないんじゃないかというふうな話がありました。桜は活着しないよということだったので、その後毎年、今くらいの季節の時に見に行ってるんですけども、去年の秋の時に行った時に100本のうち95本くらいはなくなってまして、ただ5本くらい正面玄関の入り口の近くの所にしっかりと幹の太さで7センチか8センチくらいまで育っておいりましたので、多分大きく育ってくれて私たちの子供達や孫達が、おじいちゃんが植えた木だなと10年後20年後に思っていたような森づくりになったのかなというふうに思います。ということを考えますと、林さんのいろんな思いがありまして植樹というと白河西ロータリークラブというような、なんかこう自然環境とマッチしたようなイベントというか、そういう事業を沢山やってきたんだなというふうに思います。当時のクラブ概況は以下のような状況ですが、先程今井さんのお話しましたとおり、創立時27名だったのが25周年の時に50何名までいってるんですね。現在も非常に増えてきて、じゃあこれからまた70名80名になるのかとなると、そこがなかなか難しいところかなというふうに思っています。35周年を契機に、クラブの内部をしっかりと固めると同時にまた拡大していったり、先程今井さんからお話ありましたとおり年代層の多様化というんですか。多様性、老若男女、男性も女性もいろんな方が入ってきて、いろんな活動できるようなそんなクラブ

に育ってくればなというふうに思っております。以上で、端折った内容ですけれども25周年の思い出というのをスライドでやってみました。それと、ちょっとお時間いただいて先程会長からもありましたこの地区大会につきまして、是非皆さんズームじゃなくてユーチューブなんですけどご参加いただけるというか、時々眺めてやっていたければなというふうに思っています。私は次年度の地区の役員なんですけど、今年度も参加しなくちゃならないということで、毎日ズームで会議で参加しながら打ち合わせを行っております。それで報告になりますが、次の11日の午後1時半から、地区のほうで会員拡大セミナーを行いまして、そこに代表としてパネリストということで3名の方が参加しているパネルディスカッションを行います。その一人として呼ばれましたので、白河西ロータリークラブの会員拡大の成功事例や苦勞、また大変な事、いろんな事を含めましてご報告したり、あとは地区全体の会員拡大の何かお役に立てるようなお話とかできればなと思いますので、頑張っておこないますので是非お時間のある方はご覧になっていただければ何かのお役に立てると思います。以上で私の卓話とさせていただきます。

○白河西RC30代会長

吉田充パスト会長



皆さん、こんにちは。先輩方、ありがとうございます。30代会長の吉田充と申します。10代会長、今井パスト会長、25代会長、金田昇パスト会長、本当にいろんな思いを私たちが知らない話を聞かせてもらってありがたいなというふうに思います。吉野会長はこれから35周年を成功に導くため頑張っていると思うんですが、今まで聞いた話を聞いてこれからの流れをもう一度見直すこともできるのかなというふうに思いました。私が30代の会長を引き受けるにあたって、いろいろな方々からお話をいただきながらやってきた部分があります。その中で、とにかくやるんだと思ったら自分が楽しむと。楽しまなかったら駄目だよというふうに言われた言葉が一番先にあります。クラブ目標を掲げさせていただいた時に、「楽しめる人を増やす 楽しんで奉仕をしよう」というふうなクラブ目標にさせていただきました。ここに掲げる部分でいくと、私会長なので自分が楽しむと。自分が楽しむために何をすればいいのかということを考えてだけです。その当時、幹事をやってくれた今年度会長の吉野君にはいろいろ会長のわがままを聞いていただきながらやったという記憶があります。そんな中で記念事業をやらせていただいたんですが、これも私がやったわけではなくて本当に会員のメンバーの方々のお力があってできたことであります。クラブの記念事業として、第1回白河西ロータリークラブ旗争奪チャレンジ県南ベースボール大会というものを開催させていただきました。これは前年度の会長の前原さんの時の成井青少年委員長さんが火付け役で、裏では村上さんが活躍してくれたと思います。そんな形で第1回目やって、今年度はできなかったんですがコロナの関係で。来年度、でき

るかどうかまた楽しみにしております。それから、国際奉仕関連でバンコクのほうに図書支援をしたいと、今は退会してしまったんですが木村パスト会長がこの事業を3年前から準備していただき、大変現地の方々に喜んでいただいた事業になったかと思えます。それと小峰城にベンチを寄贈させていただいた事業。それから、30周年の記念のお酒造りをやらせていただいたのと、それから白河城主の結城宗広公と関川寺の案内板を設置させていただいた事業をやらせていただきました。それと、一番印象に残っているのは懇親会でした。齋藤孝弘委員長率いるメンバーが、会場に来たお客様を楽しませるためにというふうな部分で、まずは自分達が楽しむという部分で、蝶ネクタイを付けて髭ダンスをやっていただきながら、盛り上げていただいた記憶がございます。私自身、本当に30周年の会長に適していたかどうかかわからないんですが、ただ本当に会員のメンバーの皆さんのお力があって非常に私自身は満足した記憶がございます。その会員の方々が満足したかどうかはわからないんですが、私は満足しました。そんな形で、本当に30周年無事に終わらせていただいたという部分があります。今年度は35周年、当時幹事だった吉野会長と35周年の実行委員長が居川先生ということですので、また今度の10日の日にやるということなので、多くの会員の皆さんに支えていただかないと多分成功にならないというふうに思いますので、全会員、吉野会長、居川実行委員長、盛り上げるべく頑張ってくださいなというふうに私は思います。本当につたない話で申し訳ございませんが、30周年の思い出話をさせていただきます。ありがとうございます。

○吉野敬之会長

本日は、3人のパスト会長の皆様、卓話いただきまして誠にありがとうございました。特に、今井さんとは懐かしい思い出も頭によぎりまして、まだいつでも現役に復帰する道は残されていると思いますので、その節はよろしくお願ひしたいというふうに思っております。本日、夕方から先程ご案内ありましたように35周年記念式典の予行練習を含めた実行委員会という形で行わせていただきます。予行練習でございますので、実行委員会に入らっしゃらない方達ももしお時間ありましたら是非会場のほうに来ていただいて、来週の式典こんなことをやるんだなということを目にさせていただいて、何かご参考になるようなことがあればお話いただければというふうに思います。是非、そういう方がいらっしゃいましたらお越しをお待ち申し上げます。それでは、以上で例会を終了いたします。ありがとうございました。